

授業 科目名	老年期障害理学療法学 (Geriatric Physical Therapy)	履修年次:	2 単位 30 時間	担当教員名: 大谷拓哉[理学療法士] (研究室:仁戸名研究室 11)
		必修:理 3 年	コード:RPB210	

[DP] III 実践に必要な知識

[授業の到達目標及びテーマ]

理学療法の対象とする老年期に関わる特徴的な障害に対して、理学療法の治療を通して理解することを目標とします。

- ① 加齢による運動機能の解剖学・生理学・運動学的な変化の特徴を捉える。
- ② 高齢者の理学療法を行う際に必要な様々な評価方法を理解する。
- ③ 高齢者の理学療法に関するエビデンスならびに実践方法を理解する。

全ての单元を理学療法士の実務経験を有する教員が担当する。

[授業の概要]

理学療法の対象とする老年期に関わる特徴的な障害に対して、理学療法の治療方法をはじめて学習する。本科目は基本的な高齢者の特徴に加えて、理学療法評価から結果の考察、治療計画立案なども包括して、時期別、部位別、重症度別等のさまざまな観点からの理学療法について、基本的な問題の解決を修得する。

キーワード: 高齢者・老い・運動機能・理学療法

[授業計画]

回 数	日付	テ 一 マ	内 容
第1回	4/14	老化と理学療法	老化とは、高齢者の定義と分類、世界と日本の人口動態、平均寿命、高齢者医療への理学療法のかかわり
第2回	4/21	高齢者の運動機能1	筋機能（筋力、固有筋力、筋厚、羽状角、筋内脂肪）、全身持久力（最大酸素摂取量）
第3回	4/28	高齢者の運動機能2	バランス能力（重心移動範囲、姿勢制御戦略、外乱刺激への応答）、敏捷能力・筋パワー（反応時間、筋収縮速度）、移動能力
第4回	5/12	高齢者の生理機能・精神心理面	感覚機能、自律機能、高次脳機能、知能、記憶
第5回	5/19	高齢者の機能評価1	筋機能評価、持久力評価、敏捷能力評価
第6回	5/26	高齢者の機能評価2	バランス評価、移動能力評価
第7回	6/2	高齢者の機能評価3	活動能力評価（老研式活動能力指標、LSA、E-SAS）、障害高齢者の日常生活自立度
第8回	6/9	高齢者の機能評価4	精神心理機能評価（MMSE、HDS-R、老年期うつ病評価尺度）、その他（簡易栄養状態評価表、フレイルの評価法）
第9回	6/16	ロコモティブシンドローム	ロコモティブシンドロームとは、ロコモのしくみ、ロコモ度チェック
第10回	6/23	高齢者の運動療法の実際	筋力トレーニング、バランストレーニング、持久力トレーニング
第11回	6/30	高齢者の運動療法に関するエビデンス	ADL・QOL 向上ための運動療法、転倒・骨折予防ための運動療法、身体活動促進
第12回	7/7	高齢者の転倒予防に対する運動介入	転倒の実際、転倒リスクの評価、転倒予防に対する介入の実際
第13回	7/14	高齢者の認知的側面からみた運動介入	複数課題条件下での運動機能、身体機能の認識、障害物回避のための運動介入
第14回	7/23	高齢者の姿勢アライメント障害に対する運動介入	高齢者の姿勢アライメント、姿勢アライメントの評価、介入の実際
第15回	7/28	まとめ	講義全体の総括

履修条件	特になし
予習・復習	予習として参考書の関連領域を読んでください。 復習として講義内容を整理してください。
テキスト	特になし
参考書・参考資料等	標準理学療法学・作業療法学 専門基礎分野 老年学(医学書院)、高齢者の機能障害に対する運動療法(文光堂)
学生に対する評価	定期試験(90%)、学習態度(10%)により総合的に評価する。

授業 科目名	授業科目名 : 老年期障害理学療法学演習 (Intervention by Geriatric Physical Therapy)	履修年次: 必修 : 理3年	単位数: 2 単位 コード: RPB311	担当教員名: 松田 智行 [理学療法士] (非常勤講師室)		
		実務経験のある教員による授業科目				
〔DP〕 II コミュニケーション能力 III 実践に必要な知識 IV 健康づくりの実践						
〔授業の到達目標及びテーマ〕						
<p>①老化に伴う老年期の身体変化や特性に応じた理学療法を理解し、実践できる能力を身に付ける。</p> <p>②介護予防施策に理学療法士としてどのように関与できるのかを考え、関与できるだけの能力を身に付ける。</p>						
〔授業の概要〕						
老年期に関わる特徴的な障害に対する理学療法の介入について、体験を中心とし内容を理解する。本科目は、講義に加えて、学生相互の実技実習を含めた演習形式により、老年期の障害特性を踏まえた理学療法の実際を体験して習得を促進する。具体的には、時期別、部位別、重症度別等のさまざまな観点からの理学療法の介入について、基本的かつ老年期に特有な問題の解決を図ることができる技術を習得する。						
キーワード: 高齢者、理学療法介入、介護予防、老化						
〔授業計画〕						
回 数	日付	テ 一 マ	内 容			
第1回	10/1	ガイダンス	履修の準備、課題発表およびレポートの説明			
第2回		認知症・コミュニケーション障害に対する接し方	認知症・コミュニケーション障害を有する高齢者への接し方について演習を通じ理解する			
第3回	10/8	(グループ演習①) 機能レベルに応じた理学療法介入	身体運動機能・構造の加齢変化、必要な測定方法を調べ、グループワークを行う			
第4回		(グループ演習②) 高齢期における身体能力・活動の理解	高齢者モデルを装着し、実際の高齢者での体験を通じて、老年期における日常生活を理解する			
第5回	10/15	(課題発表) 機能レベルに応じた理学療法介入	身体運動機能・構造の加齢変化、必要な測定方法をグループで発表を行い、測定を実施する			
第6回		(グループ演習③) 介護予防事業	介護予防事業（主に運動器疾患の予防）について演習を通じ理解し、課題発表の事前準備を行う			
第7回	10/22	(課題発表) 介護予防事業	高齢者に対するレクリエーション（目的・高齢者の身体レベル・効果等を考慮）をグループで考え発表する			
第8回		(グループ演習④) 高齢者福祉施策	千葉県の高齢者福祉施策についてグループワークを行い、課題発表（高齢者福祉政策）の事前準備を行う			
第9回	11/5		高齢者福祉施策に理学療法士がどのように関わるのかグループで考え発表する			
第10回						
第11回	11/12					
第12回						
第13回	11/26					
第14回						
第15回	12/3	(課題発表) 高齢者福祉施策				
履修条件		特になし				
予習・復習		実技実習で学んだことについては学生同士で復習してください。				
テキスト		授業の際に資料を配布する				
参考書・参考資料等		シンプル理学療法シリーズ「高齢者理学療法テキスト」 細田多穂監修 南江堂				
学生に対する評価		課題レポート（50%）、課題発表（30%）、授業態度（20%）により評価する。				

授業科目名： 発達障害理学療法学 (Pediatric Physical Therapy)	必修：理3年	2単位: 30時間	担当教員名：堀本佳音 (仁戸名研究室10) [理学療法士]		
		コード : RPB211 実務経験のある教員による授業科目			
[DP] III 実践に必要な知識、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽、I 倫理観とプロフェッショナリズム					
[授業の到達目標及びテーマ]					
<p>発達障害分野の理学療法を理解するために対象となる各疾患群の障害像および評価法、介入法について学び、これらを説明できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 発達障害分野の理学療法の対象となる疾患群の障害像を説明できる。 ② 発達障害分野の理学療法における特徴的な評価法・介入法を説明できる。 					
[授業の概要]					
<p>理学療法の対象とする妊娠期・周産期・新生児期や児童期等の発達段階に関わる中枢性神経障害や骨・関節等の発達や発育に影響する障害に対して理学療法の治療の実際について理解する。</p> <p>本科目は、講義に加えて、評価実技から結果の考察など治療計画立案などの演習形式も包括して、時期別、部位別、重症度別等のさまざまな観点からの理学療法の治療について、基本的な問題が解決を図る理学療法の技術を修得する。</p>					
[授業計画] キーワード：運動発達、ハイリスク児、筋ジストロフィー、二分脊椎、脳性麻痺					
回 数	テ ー マ	内 容			
第1回(4/9 IV)	概論	発達障害理学療法の特殊性			
第2回(4/16 IV)	運動発達1	運動発達の概略、原始反射			
第3回(4/23 IV)	運動発達2	胎生期から6か月までの運動発達			
第4回(4/30 IV)	運動発達3	7か月から12か月までの運動発達			
第5回(5/7 IV)	発達障害の理学療法1	低出生体重児・ハイリスク児に対する理学療法			
第6回(5/14 IV)	発達障害の理学療法2	筋ジストロフィーに対する理学療法			
第7回(5/21 IV)	発達障害の理学療法3	脊髄性筋萎縮症、ダウン症に対する理学療法			
第8回(5/28 IV)	発達障害の理学療法4	二分脊椎症に対する理学療法			
第9回(6/4 IV)	発達障害の理学療法5	小児整形疾患に対する理学療法			
第10回(6/11 IV)	発達障害の理学療法6	脳性麻痺に対する理学療法①			
第11回(6/18 IV)	発達障害の理学療法6	脳性麻痺に対する理学療法②			
第12回(6/25 IV)	発達障害の理学療法6	重症心身障害に対する理学療法			
第13回(7/2 IV)	発達障害の理学療法7	発達障害に対する理学療法			
第14回(7/9 IV)	理学療法介入	発達障害分野の理学療法介入			
第15回(7/16 IV)	まとめ	授業全体を通したまとめ			
履修条件	特になし				
予習・復習	各講義該当部分の教科書を読んで予習・復習を行うこと。				
テキスト	「最新理学療法学講座 小児理学療法学」医歯薬出版				
参考書・参考資料等	適宜資料を配布する				
学生に対する評価	定期試験 85%、学習態度 15%				

授業科目名： 発達障害理学療法学演習 (Intervention by Pediatric Physical Therapy)	必修：理3年	1 単位: 30 時間	担当教員名： 堀本佳誉 (仁戸名研究室 10) [理学療法士]	
		コード : RPB312		
実務経験のある教員による授業科目				
〔DP〕 III 実践に必要な知識、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽、I 倫理観とプロフェッショナリズム				
〔授業の到達目標及びテーマ〕				
発達障害分野の理学療法の実施計画を行うために、その実際にについて学び、計画を立てることができる。				
① 発達障害分野の対象となる疾患群に対する評価を計画できる。 ② 発達障害分野の対象となる疾患群に対する介入を計画できる。				
〔授業の概要〕				
理学療法の対象とする妊娠期・周産期・新生児期や児童期等の発達段階に関わる中枢性神経障害や骨・関節等の発達や発育に影響する障害に対して理学療法の治療の実際にについて理解する。				
本科目は、講義に加えて、評価実技から結果の考察など治療計画立案などの演習形式も包括して、時期別、部位別、重症度別等のさまざまな観点からの理学療法の治療について、基本的な問題が解決を図る理学療法の技術を修得する。				
キーワード：発達障害理学療法評価、発達障害理学療法介入				
〔授業計画〕				
回 数	テ 一 マ	内 容		
第1回(10/2 I)	理学療法評価1	姿勢評価		
第2回(10/2 II)	理学療法評価1	姿勢評価		
第3回(10/9 I)	理学療法評価2	筋ジストロフィーの動作観察・分析		
第4回(10/9 II)	理学療法評価2	筋ジストロフィーの動作観察・分析		
第5回(10/16 I)	理学療法評価3	歩行観察・分析		
第6回(10/16 II)	理学療法評価3	歩行観察・分析		
第7回(10/23 I)	理学療法評価4	脳性麻痺の歩行観察・分析		
第8回(10/23 II)	理学療法評価4	脳性麻痺の歩行観察・分析		
第9回(10/30 I)	理学療法評価5	筋ジストロフィーの歩行観察・分析		
第10回(10/30 II)	理学療法評価5	筋ジストロフィーの歩行観察・分析		
第11回(11/6 I)	理学療法介入1	介入の基本的な考え方		
第12回(11/6 II)	理学療法介入2	筋ジストロフィーに対する理学療法介入		
第13回(11/13 I)	理学療法介入3	脳性麻痺に対する理学療法介入		
第14回(11/13 II)	理学療法介入3	脳性麻痺に対する理学療法介入		
第15回(11/20 I)	まとめ	授業全体を通したまとめ		
履修条件	特になし			
予習・復習	各講義該当部分の発達障害理学療法学の復習を行うこと			
テキスト	「イラストでわかる 小児理学療法」医歯薬出版			
参考書・参考資料等	適宜資料を配布する			
学生に対する評価	定期試験 85%、学習態度 15%			

授業科目名： 発達障害理学療法学特論 Clinical Issue for Pediatric Physical Therapy	選択：理3年	1単位 15時間	担当教員名： 堀本佳薗 (仁戸名研究室10) 田舎中真由美 [理学療法士]	
		コード：RPB212		
実務経験のある教員による授業科目				
[DP] III 実践に必要な知識、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽				
[授業の到達目標及びテーマ]				
<p>1. 実際の臨床現場を想定し、知識の整理を行う。</p> <p>2. 産前産後の理学療法の評価および介入を計画できる。</p> <p>3. 摂食障害に対する理学療法の評価および介入を計画できる。</p>				
[授業の概要]				
<p>理学療法の対象とする妊娠期・周産期・新生児期や児童期等の発達段階に関わる中枢性神経障害や骨・関節等の発達や発育に影響する障害に対して、理学療法の治療について、ペーパーペイシェントなどを用いて知識の整理と体験を統合する過程を体験する。</p> <p>また、産前産後の理学療法や発達障害児に対する理学療法について、講義および実技を通して知識と技術を習得する。</p>				
キーワード：ポジショニング、ペーパーペイシェント、摂食嚥下、産前産後				
[授業計画]				
回 数	テ　マ	内　容	担当	
第1回(11/27 I)	オリエンテーション 発達障害理学療法の実際	発達障害児に対する理学療法介入	堀本	
第2回(11/27 II)	発達障害理学療法の実際	発達障害児に対する理学療法介入	堀本	
第3回(12/4 I)	産前産後	産前産後の理学療法	田舎中	
第4回(12/4 II)	産前産後	産前産後の理学療法	田舎中	
第5回(12/11 IV)	発達障害理学療法の実際	ペーパーペイシェントによるシミュレーション	堀本	
第6回(12/11 V)	発達障害理学療法の実際	ペーパーペイシェントによるシミュレーション	堀本	
第7回(12/18 I)	発達障害理学療法の実際	ペーパーペイシェントによるシミュレーション	堀本	
第8回(12/18 II)	発達障害理学療法の実際	ペーパーペイシェントによるシミュレーション	堀本	
履修条件	特になし			
予習・復習	発達障害理学療法学および発達障害理学療法学演習の復習をしておくこと。			
テキスト	特になし			
参考書・参考資料等	発達障害理学療法学、発達障害理学療法学演習で使用した講義資料			
学生に対する評価	学習態度(20%)とレポート(80%)で総合的に判断します。			

授業 科目名	地域理学療法学 (Community Based Physical Therapy)	履修年次: 理3年	単位数:2 単位 30 時間	担当教員名: <u>科目責任者 堀本 佳薈</u> (仁戸名研究室 10) 坂崎純太郎[理学療法士]、加藤太郎[理学療法士・非常勤講師]			
			コード: RPB213 実務経験のある教員による授業科目				
〔DP〕							
〔授業の到達目標及びテーマ〕							
本授業では、地域理学療法学実習に向けて、在宅で障害を持って生活する高齢者の理学療法に必要な制度の理解や理学療法評価・治療について学び、理解することを到達目標とする。さらに、近年理学療法士が派遣されることのある災害時のリハビリテーションや地域活動、国際支援を学び、理学療法士の活動の多様性について理解することを到達目標とする。							
〔授業の概要〕							
本授業では、地域理学療法学実習に向けて、在宅で障害を持って生活する高齢者の理学療法に必要な保健制度の知識や理学療法評価・治療、地域における理学療法士の役割について講義する。また、理学療法士が社会で活躍する場面やその役割について講義する。							
キーワード: 地域リハビリテーション、社会における理学療法士の役割							
〔授業計画〕							
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担当			
第1回	4/10・I限	地域リハビリテーション概要1	地域リハビリテーションの定義、日本の人口動態、社会保険制度	坂崎純太郎			
第2回	4/17・I限	地域リハビリテーション概要2	介護保険制度、地域包括ケアシステムにおける理学療法士の役割、多職種連携	坂崎純太郎			
第3回	4/24・I限	地域リハビリテーション概要3	通所・訪問・入所リハビリテーションの概要	坂崎純太郎			
第4回	5/1・I限	通所・訪問における理学療法1	通所・訪問で用いる理学療法評価 身体機能	坂崎純太郎			
第5回	5/8・I限	通所・訪問における理学療法2	通所・訪問で用いる理学療法評価 認知機能	坂崎純太郎			
第6回	5/15・I限	通所・訪問における理学療法3	通所・訪問で用いる理学療法評価 社会参加	坂崎純太郎			
第7回	5/22・I限	健康維持・増進と産業理学療法	健康増進と産業理学療法	坂崎純太郎			
第8回	5/29・I限	行政・学校・スポーツ支援と理学療法士との関わり	行政・学校・スポーツ支援における理学療法士の役割	坂崎純太郎			
第9回	6/5・I限	小児分野の地域理学療法	子どもが受けられる障害福祉サービス	堀本佳薈			
第10回	6/12・I限	小児分野の地域理学療法	小児分野の地域理学療法の実際	堀本佳薈			
第11回	6/20・III限	災害時における理学療法士の役割1	災害時における理学療法士の役割1	加藤太郎			
第12回	6/20・IV限	災害時における理学療法士の役割2	災害時における理学療法士の役割2	加藤太郎			
第13回	6/27・III限	国内における退院支援と地域連携	退院支援と地域連携における理学療法士の役割	加藤太郎			
第14回	6/27・IV限	理学療法士による国際支援	国際支援に関する理学療法士の役割	加藤太郎			
第15回	7/3・I限	緩和ケア・終末期医療の理学療法	緩和ケア・終末期医療の理学療法	坂崎純太郎			
履修条件	特になし						
予習・復習	特になし						
テキスト	最新理学療法学講座 地域理学療法学 第2版 医歯薬出版株式会社						
参考書・参考資料等	必要に応じて適宜紹介する。						
学生に対する評価	定期試験(85%)、授業時の学習態度(15%)により、総合的に評価する。						

授業 科目名	地域理学療法学演習 (Community Based Physical Therapy)	履修年次: 理3年	単位数: 1 単位 30 時間	担当教員名: <u>科目責任者</u> 堀本 佳誉 (仁戸名研究室 10) 稻垣武, 坂崎純太郎[理学療法士], 濱宮卓[理学療法士・非常勤講師]			
			コード: RPB313 実務経験のある教員による授業科目				
[DP] I 倫理観とプロフェッショナリズム, III 実践に必要な知識, IV 健康づくりの実践							
[授業の到達目標及びテーマ]							
本授業では、地域理学療法学実習に向けて、在宅で障害を持って生活する高齢者が抱える諸問題を具体的な形で取り上げ、それに対する理学療法士の役割について理解し、理学療法評価からプログラム案を作成できることを目標とする。							
[授業の概要]							
本授業では、地域理学療法学実習に向けて、在宅で障害を持って生活する高齢者が抱える諸問題を具体的な形で取り上げ、それに対する理学療法士の役割について講義し、実際にケース検討会を実施する。(本授業は、オムニバス方式により行い、主に在宅高齢者・運動器・神経疾患については坂崎、呼吸・循環器疾患については稻垣、管理・運営については濱宮、小児疾患については堀本が担当する。)							
キーワード: 地域リハビリテーション, 訪問・通所リハビリテーション							
[授業計画]							
回 数	日付	テ ー マ	内 容	担 当			
第1回	10/3 I限	地域理学療法での福祉用具・住宅改修1	福祉用具・住宅改修に係る制度、実践例	坂崎純太郎			
第2回	10/3 II限	地域理学療法での福祉用具・住宅改修2	家屋調整案に基づく事例検討	坂崎純太郎			
第3回	10/10 I限	在宅高齢者の地域理学療法 1	在宅高齢者の評価と理学療法介入	坂崎純太郎			
第4回	10/10 II限	在宅高齢者の地域理学療法 2	在宅高齢者を対象とした事例検討	坂崎純太郎			
第5回	10/17 I限	運動器疾患患者の地域理学療法 1	運動器疾患の評価と理学療法介入	坂崎純太郎			
第6回	10/17 II限	運動器疾患患者の地域理学療法 2	運動器疾患を対象とした事例検討	坂崎純太郎			
第7回	10/24 II限	脳卒中への地域理学療法 1	脳卒中の評価と理学療法介入	坂崎純太郎			
第8回	10/24 III限	脳卒中への地域理学療法 2	脳卒中を対象とした事例検討	坂崎純太郎			
第9回	10/31 I限	地域理学療法の管理と運営 1	地域理学療法分野における管理・運営①	濱宮 卓			
第10回	10/31 II限	地域理学療法の管理と運営 2	地域理学療法分野における管理・運営②	濱宮 卓			
第11回	11/7 I限	呼吸・循環器疾患への地域理学療法 1	呼吸・循環器疾患への評価と理学療法介入	稻垣武			
第12回	11/7 II限	呼吸・循環器疾患への地域理学療法 2	呼吸・循環器疾患を対象とした事例検討	稻垣武			
第13回	11/14 I限	小児疾患患者の地域理学療法 1	小児疾患の評価と理学療法介入	堀本佳誉			
第14回	11/14 II限	小児疾患患者の地域理学療法 2	小児疾患を対象とした事例検討	堀本佳誉			
第15回	11/21 I限	神経疾患への地域理学療法 3	神経疾患を対象とした事例検討	坂崎純太郎			
履修条件		坂崎担当分に関しては、パソコンを持参して下さい。					
予習・復習		前期科目である「地域理学療法学」を復習しておくこと					
テキスト		最新理学療法学講座 地域理学療法学 第2版 医歯薬出版株式会社					
参考書・参考資料等		必要に応じて適宜紹介する。					
学生に対する評価		定期試験 (85%)、授業時の学習態度 (15%) により、総合的に評価する。					

授業科目名： 理学療法技術論 (Technology in Physical Therapy)	必修： 理4年	1単位30時間	担当教員名：堀本佳誉〔理学療法士〕(仁戸名研究室10)、室井大佑、江戸優裕、稻垣武、坂崎純太郎〔理学療法士〕
		コード：RPB314	
	実務経験のある教員による授業科目		

[DP] III 実践に必要な知識、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽

[授業の到達目標及びテーマ]

各分野の理学療法の最先端のトピックについて学び、これらを説明できる。

- ① 発達障害理学療法の最先端のトピックスを説明できる。
- ② 中枢神経障害理学療法の最先端のトピックスを説明できる。
- ③ 運動器障害理学療法の最先端のトピックスを説明できる。
- ④ 内部障害理学療法の最先端のトピックスを説明できる。
- ⑤ 地域理学療法の最先端のトピックスを説明できる。

[授業の概要]

理学療法の対象とする発達障害、中枢神経障害、運動器障害、内部障害、地域分野の理学療法の最先端の評価、介入技術に関する技術と考え方を理解し、卒後の自己研鑽につなげることを目的とする。

キーワード： 発達障害、中枢神経障害、運動器障害、内部障害、地域理学療法

[授業計画]

回 数	テ 一 マ	内 容	担当
第1回 (10/6 I)	発達障害の理学療法	発達障害理学療法のトピックス	堀本佳誉
第2回 (10/6 II)	発達障害児の理学療法	発達障害理学療法のトピックス	堀本佳誉
第3回 (10/20 II)	発達障害児の理学療法	発達障害理学療法のトピックス	堀本佳誉
第4回 (10/20 III)	中枢神経系障害の理学療法	中枢神経障害理学療法のトピックス	室井大佑
第5回 (10/28 I)	中枢神経系障害の理学療法	中枢神経障害理学療法のトピックス	室井大佑
第6回 (10/28 II)	中枢神経系障害の理学療法	中枢神経障害理学療法のトピックス	室井大佑
第7回 (11/10 I)	運動器障害の理学療法	運動器障害理学療法のトピックス	江戸優裕
第8回 (11/10 II)	運動器障害の理学療法	運動器障害理学療法のトピックス	江戸優裕
第9回 (11/17 I)	運動器障害の理学療法	運動器障害理学療法のトピックス	江戸優裕
第10回 (11/17 II)	内部障害の理学療法	内部障害理学療法のトピックス	稻垣武
第11回 (12/1 I)	内部障害の理学療法	内部障害理学療法のトピックス	稻垣武
第12回 (12/1 II)	内部障害の理学療法	内部障害理学療法のトピックス	稻垣武
第13回 (12/8 I)	地域理学療法	地域理学療法のトピックス	坂崎純太郎
第14回 (12/8 II)	地域理学療法	地域理学療法のトピックス	坂崎純太郎
第15回 (12/15 I)	地域理学療法	地域理学療法のトピックス	坂崎純太郎
履修条件	3学年後期までの授業および4学年の臨床実習がすべて終了している。		
予習・復習	シラバスに沿って授業を展開します。講義内容から事前学習をしておいてください。		
テキスト	特になし。各担当教員が作成した資料をもとに授業を展開する。		
参考書・参考資料等	指定しない。授業の中で適宜紹介する。		
学生に対する評価	課題レポート(100%)で評価します。欠席が授業の3分の1を超えた場合はレポートを受けとりません。		

授業 科目名	生体機能計測学 Biological functional Methodology	履修年次: 選択:理3年	単位数: 1単位 30時間 コード:RPB315	担当教員名:大谷拓哉[理学療法士] (仁戸名研究室11)、江戸優裕、稻垣武、室井大佑 [理学療法士]					
		実務経験のある教員による授業科目							
[DP] III 実践に必要な知識 IV 健康づくりの実践 VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽									
[授業の到達目標及びテーマ]									
本授業では、生体機能・現象を計測可能な各機器の原理、センサの種類や特性、計測方法について学び、各機器で計測できる生体機能・現象を整理することで卒業研究および臨床を見据えた計測デザインの立案ができるることを目標に講義を進めしていく。									
[授業の概要]									
各単元のテーマにおいて、着目する生体现象や機器の原理・特性、計測方法およびデータの処理方法や解釈について、演習を含めて講義する。また、テーマによっては計測デザインやデータ解析例を具体的に提示する。すべての単元は理学療法士の実務経験を有する教員が担当する。									
キーワード: 生体機能・現象、計測デザイン、計測機器									
[授業計画]									
回 数	日付	テ 一 マ	内 容	担当					
第1回	4/14	ガイダンス	受講に関する注意事項、成績評価方法などの説明	大谷					
第2回	4/21	計測法総論	生体機能の計測デザイン、計測の注意点	大谷					
第3回	4/28	神経-筋機能計測	動作筋電図	大谷					
第4回	5/12	姿勢・運動機能の計測 1)	重心動搖計	江戸					
第5回	5/19	筋力計測 1)	Hand Held Dynamometer	大谷					
第6回	5/26	筋力計測 2)	トルクマシン	大谷					
第7回	6/2	姿勢・運動機能の計測 2)	3次元・2次元動作解析、床反力計	江戸					
第8回	6/9	姿勢・運動機能の計測 3)	加速度・ジャイロセンサ	江戸					
第9回	6/16	姿勢・運動機能の計測 4)	脊柱計測分析器 (Spinal Mouse)	江戸					
第10回	6/23	脳機能の計測 1)	脳機能計測	室井					
第11回	6/30	脳機能の計測 2)	視線計測	室井					
第12回	7/7	呼吸機能の計測	スピロメータ 他	稻垣					
第13回	7/14	筋の量的・質的計測	超音波検査装置	江戸					
第14回	7/23	計測デザイン演習	計測デザイン立案の演習	大谷					
第15回	7/28	まとめ	講義全体の総括	大谷					
履修条件		特になし							
予習・復習		予習として各単元のテーマについて参考書等を確認してください。復習は講義内容を整理してください。							
テキスト		特になし							
参考書・参考資料等		「計測法入門 計り方・図る意味」 協同医書出版							
学生に対する評価		課題 (80%)、学習態度 (20%) により総合的に評価する。							

授業 科目名	理学療法応用評価学 (Clinical Physical Therapy Assessment)	履修年次: 必修: 理3年	単位数: 1 単位 30 時間 コード: RPB316	担当教員名: 室井大佑 [理学療法士] (仁戸名研究室 1)、堀本佳誉、大谷拓哉、江戸優裕、稻垣武、坂崎純太郎 [理学療法士] 実務経験のある教員による授業科目
-----------	---	---------------------	-----------------------------------	---

[DP] III 実践に必要な知識、II コミュニケーション能力、VII 生涯にわたる探究心と自己研鑽

[授業の到達目標及びテーマ]

臨床現場を想定し、各科目で学習した成果を実践することを目的とします。

- ① 理学療法評価学で学んだ評価方法の確認をします。
- ② 現場での正確な計測ができるよう、シミュレーテッドペイシメントに対して評価を実施します。

[授業の概要]

理学療法評価学IIIの応用を目的とし、理学療法評価学I・II、理学療法評価学演習をはじめ、整形外科学や神経科学の総論と各論で学習してきた身体機能を臨床実習に活かすために、実習前実技試験(OSCE)やペーパー・ペーチェント、シミュレーテッドペイシメントを利用する。

運動器系障害や中枢神経系障害を問わず、臨床実習前後にOSCEを行い、学習の再確認を行うものである。3学年の評価実習に向けての取り組みと振り返り、4学年の総合実習I・IIにむけて理解を深める。

キーワード: 各疾患に対する検査・測定、評価方法の確認

[授業計画]

回 数	日付	テ 一 マ	内 容	担当
第1回	10/24 I	オリエンテーション	受講に関する注意事項、実習記録・報告書の書き方	室井
第2・3回	11/7 III-IV	実習前実技試験	各検査測定方法の実技テスト	全教員
第4回	11/14 III	評価の実際	整形外科疾患に対する評価の実際①チェックリストの確認	江戸・稻垣
第5回	11/14 IV	評価の実際	整形外科疾患に対する評価の実際②	江戸・稻垣
第6回	11/28 I	評価の実際	中枢神経疾患に対する評価の実際①チェックリストの確認	室井・大谷
第7回	11/28 II	評価の実際	中枢神経疾患に対する評価の実際②	室井・大谷
第8回	12/5 I	評価の実際	高齢者に対する問診と評価の実際	堀本・坂崎
第9回	12/5 II	実習前実技練習	高齢者を想定したOSCE形式の実技練習	堀本・坂崎
第10・11回	12/12 I-IV	実習前実技試験	整形外科疾患に対する評価の実技テスト	江戸・稻垣
第12・13回	12/19 I-IV	実習前実技試験	中枢神経疾患に対する評価の実技テスト	室井・大谷
第14・15回	2/19 I-IV	実習後実技試験	各検査測定方法の実技テスト	全教員
履修条件		すべての回に出席することが前提になっています。欠席者には課題を課す場合があります。 臨床実習の服装・身なりで臨むこと。評価器具を準備すること。		
予習・復習		各疾患に対する検査・測定、評価方法を復習しておくこと。		
テキスト		理学療法評価学IからIIIで用いたテキスト		
参考書・参考資料等		授業の中で適宜紹介します。		
学生に対する評価		実技テスト(85%)、授業時の学習態度(15%)により、総合的に評価する。		